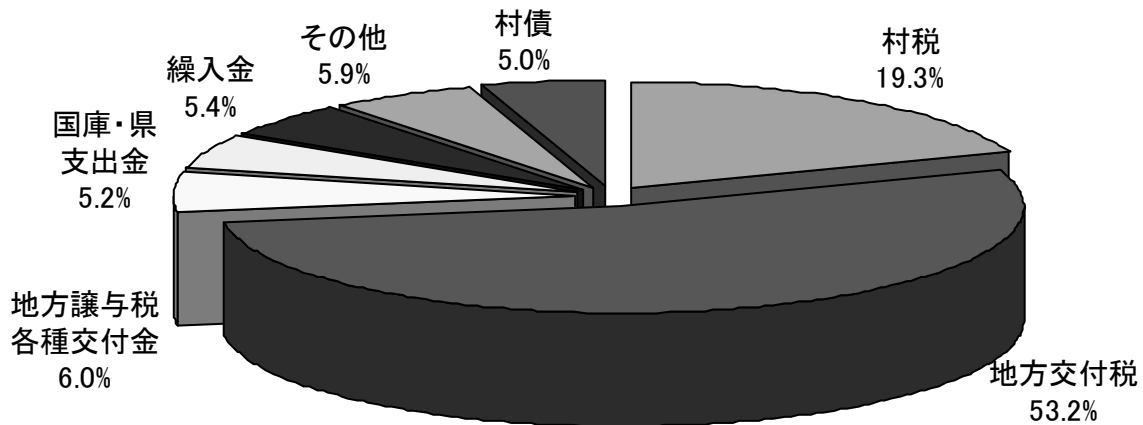


# 13億8949万6千円

## 歳入

平成20年度予算では、税や交付税等による収入だけでは支出をまかなえないため、財政調整基金の取り崩しを64,678千円（繰入金に）計上しています。予算ベースで基金の20年度末残高は2億8058万1千円と見込んでいます。その結果、平成17年度の財政シミュレーションよりも2億9千万円程改善していることとなりますが、極めて厳しい財政状況にあることには変わりありません。



### ■ 歳入

(単位:千円)

区分	予算額	前年度当初	前年度比	説明
村税	268,370	257,270	11,100	住民税、固定資産税、法人税等
地方交付税	739,852	731,000	8,852	国から交付されるお金
地方譲与税各種交付金	83,800	87,000	▲ 3,200	特定の国県税を一定の基準で地方へ譲与されるお金
国庫・県支出金	71,708	60,706	11,002	国や県からの補助金など
繰入金	74,713	91,957	▲ 17,244	村の基金(貯金)を取り崩して使われるお金。財政調整基金など
その他	81,853	84,413	▲ 2,560	財産収入、使用料及び手数料、分担金及び負担金、繰越金、寄付金など
村債	69,200	161,900	▲ 92,700	財務省、銀行等からの借入金
計	1,389,496	1,474,246	▲ 84,750	

### ■ 借入金(起債残高)の見通し

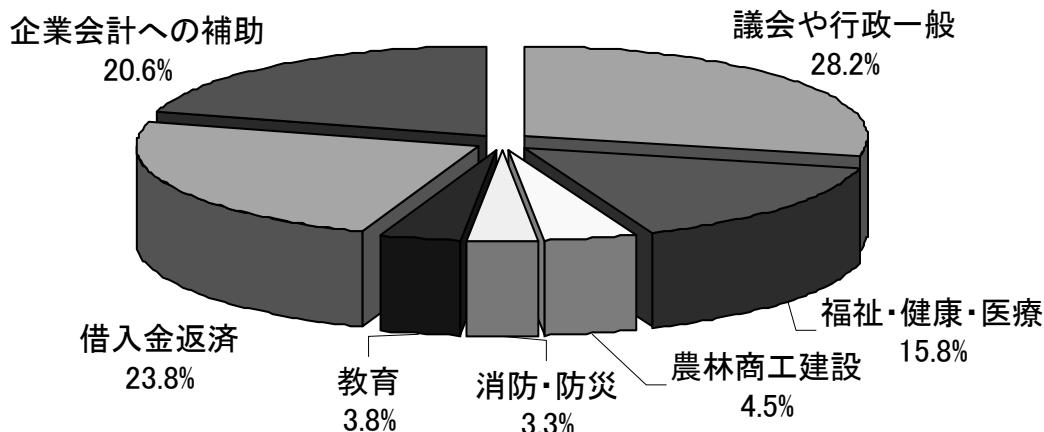
	借入金			返済額計	年度末元金残高
	一般会計	特別会計	企業会計		
平成20年度見込み	2億9198万円	2673万円	6876万円	3億8747万円	34億5215万円
平成21年度見込み	2億7447万円	2518万円	2億2848万円	5億2813万円	29億2402万円
平成22年度見込み	2億5757万円	2639万円	2億3295万円	5億1691万円	24億711万円
平成23年度見込み	2億4427万円	2633万円	3301万円	3億361万円	21億350万円
平成24年度見込み	2億1996万円	2767万円	3158万円	2億7921万円	18億2429万円

※繰上償還のため平成20年度の企業会計（スキー場）の返済額が少なくなっています。  
 ※平成20年4月現在。元金のみで利子の金額は含んでいません。

# 20年度一般会計予算は

## 歳出

20年度予算は歳出を引き続き厳しく押さえ、ケーブルテレビ事業が終了したこともあり、前年度を5.7%下回るものとなっています。



### ■ 歳出(目的別)

(単位:千円)

区分	予算額	前年度	前年度比	説明
議会費	12,412	12,332	80	議員報酬等の議会経費
総務費	364,317	480,933	▲ 116,616	職員人件費、路線バス経費、事務費等
民生費	120,980	111,629	9,351	福祉(保育園も含む)、健康、医療経費
衛生費	94,927	92,529	2,398	ゴミ処理、下水処理等の経費
農林業費	21,283	11,117	10,166	農業費、林業費
商工労働費	20,136	32,008	▲ 11,872	施設の維持管理等観光費、貸付金
土木費	19,646	17,346	2,300	道路の維持補修費
消防費	45,110	44,577	533	広域消防への負担金等消防にかかる経費
教育費	51,116	52,584	▲ 1,468	小中学校費 社会教育費
公債費	333,286	326,756	6,530	村の借入金の返済費
企業会計補助金	296,283	282,435	13,848	企業会計(スキー場)の債務返済への補助
予備費	10,000	10,000	0	緊急的な事柄(災害)等への経費
計	1,389,496	1,474,246	▲ 84,750	

### ■ 特別会計と企業会計

(単位:千円)

会計名	予算額	前年度	増減
国民健康保険事業	113,169	106,364	6,805
診療施設事業	65,201	60,704	4,497
老人保健事業	12,222	114,223	▲ 102,001
後期高齢者医療費事業	11,506	0	11,506
村営水道事業	21,786	22,685	▲ 899
おんたけ高原簡易水道事業	20,677	24,973	▲ 4,296
宅地造成事業	21	21	0
農業集落排水事業	128,333	37,738	90,595
簡易排水事業	2,987	2,231	756
計	375,902	368,939	6,963
公営企業観光施設事業(収益の収入)	36,663	30,288	6,375
公営企業観光施設事業(収益の支出)	536,572	385,592	150,980

### ■ 過去10年間の予算推移

年度	予算額
平成11年度	1,881,043
平成12年度	2,287,545
平成13年度	2,482,289
平成14年度	2,309,358
平成15年度	1,906,250
平成16年度	2,382,304
平成17年度	1,943,832
平成18年度	1,619,337
平成19年度	1,474,246
平成20年度	1,389,496

### (3) 観光・商工業の振興 17,730千円 (▲40.1%)

- ・王滝村の自然や人的、文化的資源といった特性を活かした観光振興を進めます。
- ・新たに王滝村『癒しと活力のある』観光再生協議会の事業に対しての助成を計上しています。今後、協議会の計画策定・実施に合わせ必要に応じて予算措置を行います。
- ・キャンプ場施設の活性化や観光施設の維持管理を行うとともに、木曾川下流域などの地域との交流を推進します。

〈主な内訳〉	銀河村キャンプ場管理費（星空の観望会等を含む）	5,965千円
	松原スポーツ公園、国民体育館等観光施設管理費	4,699千円
	中小企業振興資金預託金	2,058千円

### 5、消防・防災対策の推進 45,110千円 (+ 1.2%)

- ・御嶽山を訪れる方への安全対策を充実するため噴火監視を継続するほか、新たに冬期間の避難誘導・救助支援のための被服等の整備、AED（救命のために心臓にショックを与える除細動器）の設置を行います。

### 6、日常交通の確保 16,752千円 (+ 7.8%)

- ・引き続き日常の交通手段の確保に努めます。
- ・田の原観光路線バスは観光再生協議会で運行内容を検討・実施していきます。

#### 〈主な関連事業費〉

(1) 木曾町基幹バス負担金	11,952千円
田の原観光路線バス運行	2,884千円
(2) 福祉有償運送（村社会協議会へ委託）	1,494千円
(3) 無医地区支援バス	422千円



### 7、村道等の整備・維持管理 21,049千円 (+17.9%)

- ・安全性の確保を第一に、村道等の維持補修や除雪を行います。
- ・「水と緑のふるさと寄付金」や補助制度を活用し、村道、林道、登山道の整備を昨年度に対し増額して実施します。

### 8、教育の充実

#### (1) 小中学校教育 27,259千円 (▲ 0.5%)

- ・「水と緑のふるさと基金」及び他にお寄せいただいた寄付金によりパソコン教室の生徒用コンピューターを16台更新します。
- ・英語教育・国際化教育推進のためのALT（外国語指導助手）による授業を引き続き実施します。

#### (2) 社会教育 6,200千円 (▲18.0%)

- ・新たに、放課後や長期休業時に子供に体験や学習の機会を提供する「放課後子供プラン運営事業」を子供育成会に委託して実施します。
- ・王滝村の自然や歴史的・文化的な資源、良さを再発見し学び直す「御岳山学習講座」を引き続き実施します。
- ・前年比で減となっているのは、太鼓の皮の張替事業の減によるものです。

#### (3) 奨学金 5,869千円 (前年同)

- ・高等学校生と及び大学生に対する奨学金制度を継続します。



# 平成20年度予算の主な特徴

( ) 内は対前年比

## 1、財政再建・健全化への取り組み

(1) 人件費 291,900千円 (▲ 0.6%)

- ・一般職 20% (期末勤勉手当5%)、特別職 30%、議員報酬 40%カット後の額で計上しています。なおカットによる削減額は約▲ 60,000千円となっています。

(2) 歳入増への取り組み

- ・引き続き税収確保に努めるとともに、18年度において設置した「水と緑のふるさと基金」に対する寄付を計上しています。なお、「水と緑のふるさと基金」にこれまでお寄せいただいた寄付金から、607万4千円を20年度事業の財源として計上させていただいています。

## 2、村民福祉の維持・充実

(1) 児童福祉 18,094千円 (+10.7%)

- ・子育て支援センターの利用に対しての助成を新設します。
- ・保育園の仮設プールの更新を助成金を財源に予算化しています。
- ・未満児保育、時間外保育については継続実施します。
- ・保育料のアップは予定していません。



(2) 社会福祉 102,365千円 (+ 8.1%)

- ・高齢者福祉、障害者福祉等に必要な経費を計上しています。なお、後期高齢者医療制度の導入にあわせて福祉医療制度改定を行います。

〈主な内訳〉

高齢者福祉費 60,933千円 障害者福祉費 20,761千円

保健福祉センターの運営 7,043千円

村社協への負担金、国民保健特別会計の安定化等13,628千円

3、健康の増進・医療体制の維持 45,102千円 (+ 0.7%)

- ・新たにウォーキング講座や食に関する健康講座を通じて、メタボリック対策などの健康増進事業を進めます。また、検診制度の改正など病気予防を推進します。

## 4、産業の振興・森林の整備

(1) 農業の振興 7,782千円 (+35.0%)

- ・赤蕪等農産物の特産品化やすんき漬け等の商品化を進めます。
- ・新たにモンキードック (サルを追う犬) による獣害対策を行う団体に助成します。



(2) 林業の振興・森林の整備 13,501千円 (+152.2%)

- ・「水と緑のふるさと基金」にお寄せいただいた寄付金や補助制度、協定等により造林事業や林道の維持管理を行うこととし、前年比が大幅な増となっています。
- ・新たに、下流域など広域からボランティアを募りながら間伐等を行い、森林保全や薪の活用による自然エネルギーの循環推進します。また、モニターツアーなど森林整備の体験を新しい観光資源として位置づける試みを行います。